

**製品名: HDAC1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21452**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:4000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:55kD;Observed MW:62kD

**抗原情報**

遺伝子名	HDAC1
別名	HDAC1;RPD3L1;Histone deacetylase 1;HD1
遺伝子 ID	3065.0
SwissProt ID	Q13547
免疫原	ヒト HDAC1 の合成ペプチド

**背景**

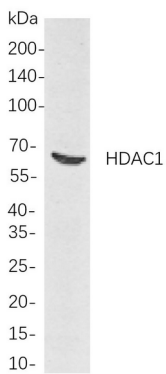
細胞局在: 核。多サブユニット複合体によって触媒されるヒストンのアセチル化および脱アセチル化は、真核生物の遺伝子発現制御

において重要な役割を果たしている。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヒストン脱アセチル化酵素 /acuc/apha ファミリーに属し、ヒストン脱アセチル化酵素複体の構成要素である。また、網膜芽細胞腫瘍抑制タンパク質と相互作用し、この複合体は細胞増殖および分化の制御において重要な要素である。転移関連タンパク質 -2 と共に、p53 を脱アセチル化し、細胞増殖およびアポトーシスに対する p53 の影響を調節する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析 (HDAC1 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。